

1. 評価の視点

応募者の提案書の項目ごとに評価を行う。

提案書の項目	評価の視点（例）	失格事項	配点
ア 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に対する理解度 ・本事業に対する理解度と対話事業者としての協力量の整合性 	・記載がない	10
イ 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売市場の課題解決や機能向上に関する検討が十分に期待可能 ・余剰地（民間収益施設）に関する検討が十分に期待可能 ・官民連携に関する検討が十分に期待可能 	（実績要件の確認で代替）	10
ウ 沖縄市場敷地全体の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市場敷地全体が有効に活用されることが期待可能 ・沖縄市場の配置場所の考え方が適切 	・記載がない	10
エ 沖縄市場施設の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市場が抱える課題認識が適切 ・課題認識の施設計画への反映方針が適切 ・沖縄市場の再整備にあたり公費負担の最小化が期待可能 	・記載がない	10
オ 余剰地（民間収益施設）の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・余剰地活用検討に関する積極性がある ・余剰地活用の実現可能性が期待できる ・余剰地活用時の効果が期待できる ・沖縄市場との相乗効果が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載がない ・カジノやパチンコホール等のギャンブルに供される施設が提案されている 	20
カ 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・整備スケジュールの考え方が適切 ・他の提案項目との整合性がある ・提案時点の試算の考え方としては適切 ・各施設使用料（面積割＋売上高割）の原則 2 倍以内の実現が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載がない ・他の提案項目との間で大きな齟齬がある ・各施設使用料（面積割＋売上高割）の原則 2 倍以内の実現が全く期待できない 	20
キ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄市場の再整備の課題や懸念事項の認識が適切 ・その他自由提案内容について、一定の条件下では効果が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載がない <p>※その他自由提案はなくても失格事項とはしない</p>	20
合計	—	—	100

2. 評価方法

各提案事項について、評価の視点を踏まえて、次の5段階で評価する。

評価	判断基準	評価点の算出方法
A	提案内容が極めて優れている	配点 × 100%
B	提案内容が特に優れている	配点 × 75%
C	提案内容が優れている	配点 × 50%
D	提案内容に評価すべきところがある	配点 × 25%
E	提案内容に評価すべきところがない	配点 × 0%

評価点の合計の最も高い提案者を、対話事業者候補として選定する。

以上